

利島村

～子供も先生も、ともに成長する「育ちの島」～

利島村の特徴・特色ある教育活動について

利島村（としまむら）の特徴

- 人口 約300人（日本で3番目に少ない）、児童生徒 約25人
- 今年度から島しょ部初の義務教育学校1校（施設一体型）
- 約20万本の椿に覆われた島。
- 主な交通手段は、大型客船・高速ジェット船（竹芝⇄利島）、ヘリコプター（大島⇄利島）で「意外と近い島」

特色ある教育活動について

「自立」を学校教育目標の中核に据え、15歳で島を離れる子供たちにとって必要な社会的資質・能力の育成を目指した教育活動を展開しています。

また、学習指導や学校行事、校内研究を小中の教員が合同実施するなど、義務教育学校の強みを最大限に生かした取組を進めています。

（ココが凄い利島の教育！）

- ✓ 「極少人数」の環境で行う挑戦的な教育実践
- ✓ 自然・歴史・人とのつながりが豊かで「島全体が教材」
- ✓ 小中の教員が切磋琢磨する「教師が育つ島」



利島村独自の取組を実施しています！

「教師が育つ利島」：アップデートの機会が豊富

～実際に利島を選んで赴任する先生が増えています↗↗～

【取組】

- ①教育委員会と学校の近い距離感を生かした勉強会
⇒外部有識者の来島・オンライン登壇など
- ②少人数×教育DXを実現するための研修
⇒教育DXに関する資格取得支援など
- ③教師の成長を奨励する環境
⇒教育研究員・教師道場や読み放題サービスの導入など
⇒保護者・住民との対話の機会も多く、視野が広がります

利島村の魅力を発信します！

- 利島で働く魅力発信動画「利島のまなび」公開中（長編も公開中）



- 日本を代表する「椿油」の産地。子供たちも椿の実を収穫し、児童生徒会活動費に。



※ J A 利島ホームページより